

自立活動だより

令和6年度

令和6年12月 6日発行

佐世保特別支援学校 自立活動部



今回の自立活動だよりでは、あたご高等部2年生とわかくす高等部の自立活動の様子を紹介したいと思います。

I：知的障害教育部門高等部2年生の自立活動の様子

知的障害教育部門(以下あたご部門)2年生では、自立活動の時間における指導を7グループに分け、毎週火曜日の6時間目に実施しています。生活・学習の中で見られる生徒一人一人の課題を把握した上で、目に見えている課題の背景にある要因を整理して目標設定を行います。グループ編制は、自立活動の個別の目標を基に目標やアプローチ方法が近い生徒同士をグループピングしています。そのうち四つのグループの様子について紹介します。

主として「言語の受容と表出」を目標とした学習に取り組むグループ

生徒の課題	語彙数が少なく、指示理解ができないことがある。	
目標	理解できる言葉を増やす	
指導内容や指導方法、手立てなど	学校生活や家庭生活で必要な物の写真や実物を使って、「持ってくる」「飲む」「入れる」などの指示を聞いて行動することを繰り返し練習して、教師の支援がなくても声掛けなどの確認のみでできることを増やせるように学習している。	
変容	1学期は、写真と口頭の指示だけでは指示された物を正確に選んだり、指示された動作をしたりすることは難しかった。教師が手本を見せたり、繰り返し練習をしたりすることで、2学期には口頭の指示だけで指定された物を選んだり、所定のところに置くなど指示されたとおりに行動したりすることができるようになってきた。	

主として「自分の気持ちを表現する」ことを目標とした学習に取り組むグループ

生徒の課題	困ったときなどに気持ちを伝えたり支援を求めたりすることにちゅうちょしたり、声が小さくなったりする。	 【コミック会話(例)】  <p>きもちわるくなったとき</p>
目標	様々な場面で、どのように伝えたらいいか理解し、伝える練習をしたりする。	
指導内容や指導方法、手立てなど	集中力が持続するように、三部構成で学習を行っている。①2択で好きな物を伝える。発表に抵抗がある生徒は最後の方に発表する。②コミック会話で伝え方を学習した後に、声の大きさを視覚的に示した「声の物差し」を提示しながら実際に発声する練習をする。③ゲームを通して気持ちを伝える。	
変容	声の物差しを利用して伝え方の練習をしたことで、少しずつ大きな声で発表できるようになってきた。また、ゲームをしながら気持ちを簡単な言葉で伝えたり、支援を求めたりするように指導したことで、促しがなくても「やったー」、「残念」、「教えてください」などの言葉で気持ちを表現したり伝えたりできるようになってきた。	

主として「人間関係の形成」を目標とした学習に取り組むグループ

生徒の課題	人との関わりや自分の気持ちを伝えることが苦手である。
目標	・他者の考えを受け止め、適切な関わりができる。 ・気持ちを言葉で伝える。
指導内容や指導方法、手立てなど	① 1～2分程度の話を聞いて、問題に答える。 ② 様々な場面を想定し、そのときの気持ちを五つの選択肢の中から選ぶ。 ③ カードに書かれた質問に答える。回答を聞く側の生徒はうなずきや肯定的な質問をする。 授業の始めに流れと目標を確認する。様々な考えがあっという間を伝えたり、自分と違う考えがあることを知ることが大事であることを伝えたりしながら、話しやすい雰囲気づくりをしている。
変容	トークカードを引いてから、カードに書かれたテーマに合わせた話を始めるまでの時間が短くなってきた。友達の話聞いて共感したり、質問したりできるようになってきており、友達の話に関連して自分のことを話すこともできるようになってきた。

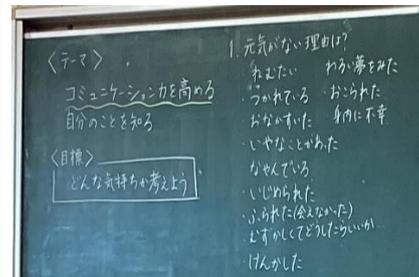


【参考になっている書籍等】



主として「自己理解と状況に応じたコミュニケーション」を目標とした学習に取り組むグループ

生徒の課題	頭で理解していることでも、実生活に活かすことが難しい。
目標	・自分のことを知る。 ・コミュニケーション力を高める。
指導内容や指導方法、手立てなど	・「こんなときどうする？」をテーマに、できるだけ生徒が経験したことや経験しそうなことを題材にソーシャルスキルトレーニングを行う。 ・場面に応じてどのように伝えればよいか、どう行動すればよいか確認する。
変容	実生活で学んだことを活かすまでにはまだ至っていないが、学んだことを覚えていて、「自分だったらこんなふうに思う」と自分の考えを発表できることが増えてきている。



その他、グループ別だけでなく、1時間目の「朝の活動」の時間に自立活動専任の教員に依頼し、主に「身体の動き」について個別に学習している生徒もいます。

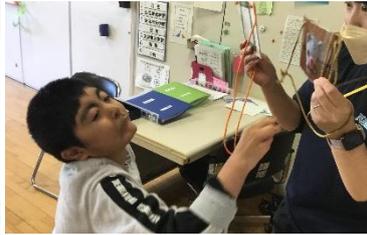


II: 肢体不自由教育部門
(わかくす) 高等部

実態に応じて2~7時間の自立活動の時間があります。主な内容としては、身体の動き、他者との関わり、自己理解などの学習に取り組んでいます。1対1での学習だけでなく、数名でのコミュニケーション等の学習にも取り組んでいます。



主に、人との関わり
や自己理解に関わ
る学習



自分が「したいこと」を表す
写真カードを選択し、気持ち
を伝える



お気に入りのものに触れ
ると音楽が流れる🎵



他者からの働き掛けを
受け入れる(^^)



頭部を起こして、
目の前の人と関
わる



得意・不得意を知
り、対処法を学ぶ



話し合いでデザイン決
定&作成&依頼



主に、手指の操
作に関わる学習

主に、身体の動
きに関わる学習



体の筋緊張を緩めて、姿勢を保持する



指示された数のものを枠に
入れる



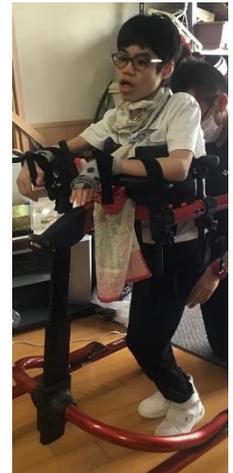
渡された物を容器に入
れる



頭部を保持し、手
元を見る



バランスを取りな
がらの歩行練習



ゲートトレーナ
ーでの歩行練習



文字の飛ばし読み改善
に向けて、ビジョントレ
ーニングを行う